中学校１年　国語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			計
	書くこと	読むこと	言語事項	
＋10％ より高い	0	1	0	1
±10％ の範囲内	0	1	8	9
－10％ より低い	1	4	5	１０
計	1	6	１３	２０

（２）考察

①　全体について

ア　全体的に学習状況はあまり良好とはいえない。

イ　「言語事項」と「読むこと」については、設問によって通過率にばらつきが見られる。

②　成果

ア　「読むこと」では、キーワードの抜き出しや段落の役割についての理解が良好である。

イ　「言語事項」の漢字の読み、書き、同音異義語、文節、助詞、漢語の理解が良好である。

③　課題

ア　「読むこと」では、文章全体を読んで内容をとらえることや、事象と意見などを読み分けて内容を読み取る力が十分とはいえない。

イ　「書くこと」については、自分の考えや気持ちを的確に表すために、自分の体験や見聞きしたことを関連付けながら書く力が十分とはいえない。

ウ　「言語事項」では、同訓異字、慣用句、ことわざ、四字熟語についての理解が十分とはいえない。

（３）今後の指導

ア　説明的文章の指導において、文章全体から、書き手の意図や構成を読み取るための指導の充実を図りたい。

・文章全体を読んで、目的や必要に応じて情報を選択し、要約したり要旨をとらえたりする学習活動を取り入れる。

・論の展開の中心となる部分と付加的な部分とを読み分けたり、段落相互の関係を押さえて文章全体における役割について考えたりすることなどを通して、論理の展開を読み取る学習活動を設定する。

・文章の構成の工夫や表現の特徴等に着目し、その意味を解釈しながら、筆者の表現意図を読み取る学習を展開する。

19）1段落の一文めの問いに対する答えを、「ゆたか」「人間のくらし」の二語を用いて五十字以内で書きなさい。

イ　「書くこと」において、目的に応じて事実と感想、意見などとを区別し、それらの関係をとらえて書く指導を重視したい。

・課題設定や取材、構成、記述、推敲、交流のプロセスに沿って単元を構成し、生徒の実態から重点的に指導する内容を焦点化する。

・相手意識、目的意識を明確にした取材活動、選材活動を設定する。

・冒頭部分の内容、事例の配置の仕方、自分の考えと具体例との関連付けの仕方など、文章の形態に応じた組み立ての工夫について指導する。

・「読むこと」の指導と関連を図ることなどを通して、構成や表現の工夫について指導する。

・文章を書く過程で学んだことをもとに、視点を明確にして交流し合う活動を設定する。

20）国語の時間に、五・七・五で書かれた作品を集める学習で見付けた、「川柳」のおもしろさについて話し合うことになりました。次の［　］の川柳A・B・Cについて、後の〈条件〉にしたがって、あなたの考えを書きなさい。

A 本ぶりになって出てゆく雨やどり

B 寝てゐても団扇（うちわ）のうごく親心

C 逃げしなに覚えて居（ゐ）ろは負けたやつ